

## 2026年度除草剤適正使用に関するキャンペーン案

公益財団法人日本植物調節剤研究協会

### 1. 目的

除草効果の安定と水田外への流出防止のため、水稲用除草剤散布前後の水管理の周知徹底を図る。

### 2. キャンペーン媒体

- 1) 新聞：日本農業新聞（紙面および公式ウェブサイト）
- 2) 植調誌（60巻4月号）
- 3) 当協会Webページ

### 3. 日本農業新聞（紙面および公式ウェブサイト）への掲載内容等

- 1) 対象薬剤：水稲用除草剤

- 2) 紙面への掲載時期、サイズ：

1回目：2026年4月3日（金） 最終面カラー印刷 全5段記事（1頁の約1/3）

2回目：2026年5月1日（金） //

※金曜日を第一希望、曜日指定不可のため変動の可能性あり

（参考）2025年実績 4月4日（金） 最終面カラー印刷 全5段（1頁の約1/3）

5月2日（金） //

- 3) 公式ウェブサイトへの掲載時期、掲載位置：

2026年4月1日（水）～30日（木）

PC版、スマホ版ともに、最上部バナー（ビルボード枠）としてキャンペーン画像を掲載  
→ここから植調協会ホームページ内の関連ページにリンクさせる

（参考）2025年実績 4月1日（火）～30日（水）に最上部バナーとして掲載

※期間中の広告バナー表示回数 1,052,963回

- 4) 会社名の掲載（ロゴで表示）

- 5) 薬剤名の掲載（ロゴで表示）

- ・同一成分での複数剤型は1剤とみなす（1キロ粒剤、フロアブル、ジャンボ、その他）
- ・同一成分、含有率での複数商品は1剤とみなす（北向け/南向けなど）
- ・一発処理剤、初期剤、中・後期剤の区別はない
- ・掲載順：あいうえお順  
（表記のしかた）
  - 並列する剤型の順は、1キロ粒剤、フロアブル、ジャンボ、その他
  - 北向け、南向けがあるものは、北向け/南向けの順

### 4. 刊行までのスケジュール

- 1) 2026年 2月中旬 関係会社オンライン説明会（掲載方法、記事案等の説明）
- 2) " 3月上旬 参画会社、掲載薬剤〆切
- 3) " 3月下旬 レイアウト等校正

## 5. 費用等

- 1) 全体予算 : 3,300,000円程度(税別)
- 2) 費用負担 : 会社名の掲載 100,000円/社(税別 変動なし)  
薬剤名の掲載 80,000円/剤(税別 変動なし)
- (参考) 2023年実績 14社 23剤 全5段×2回+HPバナー  
2024年実績 13社 22剤       "  
2025年実績 14社 22剤       "

(全5段の記事内容案)

- ・薬剤散布後7日間は落水、かけ流しをしないことを喚起する(田植え前・播種前散布も同じ)
- ・一発処理剤の約1/2は、ジャンボ剤やフロアブル、拡散性粒剤が使われていることをふまえ、除草効果の安定の面からも処理後落水、かけ流しをしないことの重要性を示す
- ・畦畔のひび・穴等の補修、事前の水持ちを確認することの重要性を示す
- ・水田系外への流出防止技術として、散布後水田水がなくなるまで給水しない止水管理に植調協会が取り組んでいることを示す

\* ご意見,ご質問は、下記までお願い致します。

連絡先：公益財団法人日本植物調節剤研究協会 企画課  
〒110-0016 東京都台東区台東1丁目2番6号  
TEL：03-3832-4188 FAX：03-3833-1807  
E-mail：kikaku@japr.or.jp